

なぜ、馬や自然  
は子どもの育ち  
に良いのか？

ホース  
セラピーの  
現場から



# 本日のアジェンダ (メイン)

1. 自己紹介
2. 活動の背景・経緯
3. ホースセラピー開始
4. 事業の可能性、課題
5. パネルトーク
6. Q&A

# 本日のアジェンダ (パネルトーク)

1. ホースセラピーをヒモ解く9つの視点
2. 五感は古い、七感で子どもは育つ！ ～感覚統合×自然体験
3. ちゃんと儲かるの？ ～事業モデル、経営を分析
4. 虐待・貧困・トラウマ… 困難を抱える子に何ができる？  
～子どもの課題×自然体験
5. ホースセラピーからSDGs・持続可能な地域へ  
～馬、福祉、地域資源をつなぐ
6. 馬先生は、指導者の育成に最適！  
～心身一致のコミュニケーション

# 自己紹介（社会人過去） 黍原 豊（きびはら ゆたか）

- (特)岩手子ども環境研究所 01-2,05-12

- エコスクール「森と風のがっこう」（葛巻町）
- 食とエネルギーの自給自足が体験できる場

- 県立児童館 いわて子どもの森 '03-4

- 野外プログラム企画運営、ツリーハウス制作
- 支援者・指導者の育成研修



## 自己紹介（釜石） 黍原 豊（きびはら ゆたか）

- 釜援隊協議会 2013.4～15.5
  - 総務省の復興支援員制度で設立  
市内の復興まちづくりをサポート
- (一社)三陸ひとつなぎ自然学校 2013.4～15.4
  - エコツアー、子どもの居場所づくり  
ボランティア・インターンシップの受入
- (一社) 三陸駒舎 2015.4～
  - 北の馬文化再生、子どもケア

活動の背景と経緯

---

なんで三陸駒舎を始めたの？

なぜ、黍原は今の活動をしてるのか？

1.馬が好き

2.子どもが  
好き

3.釜石が  
好き

4.成り行き

プロジェクトの発端

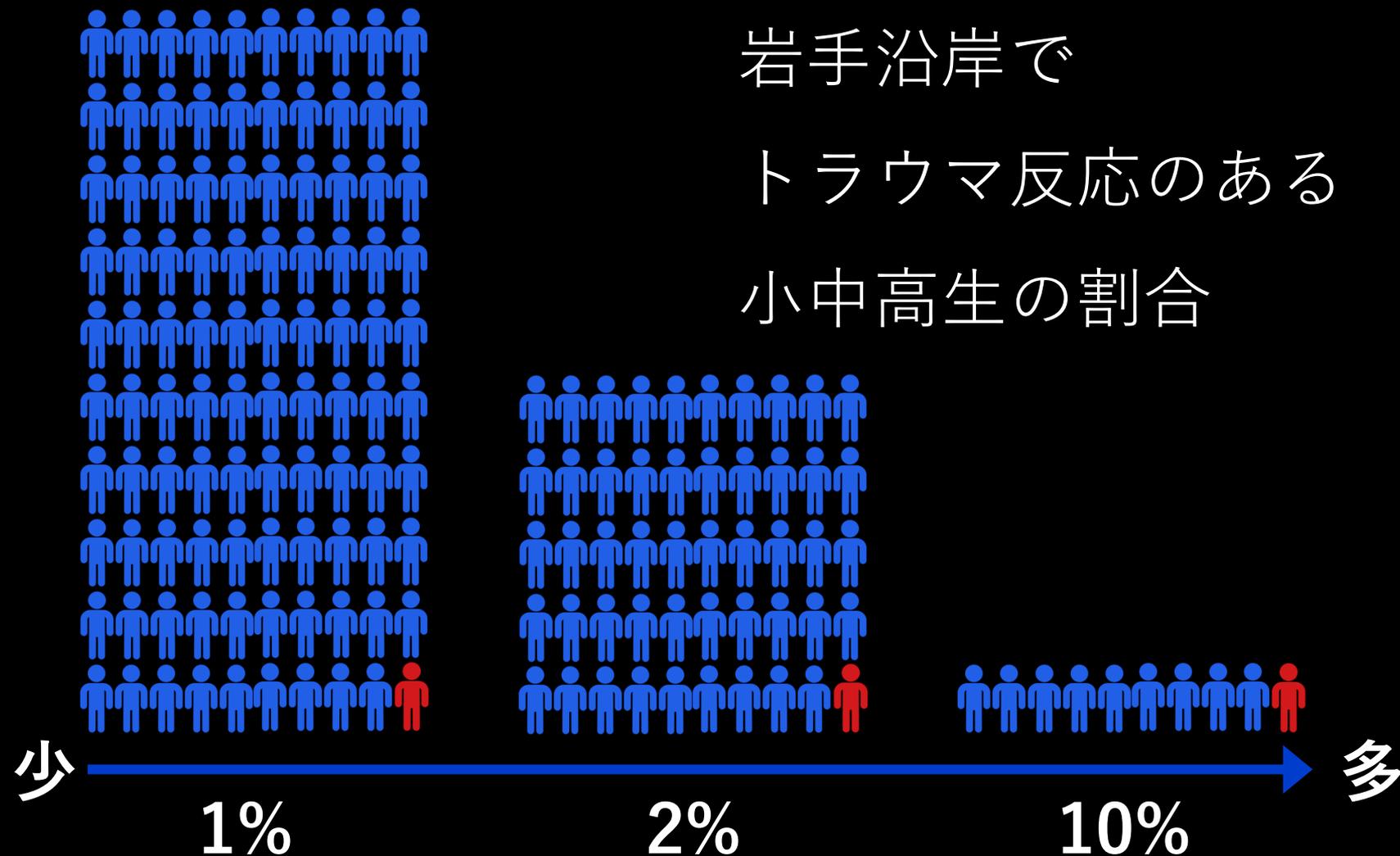
---

ストレスを抱える子ども達



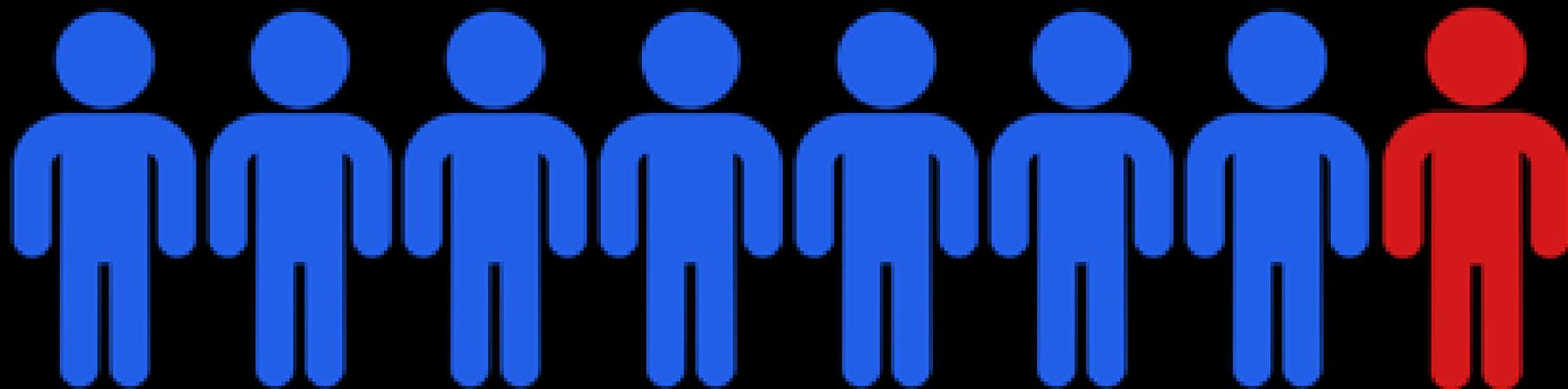
無意識に感情を抑え込む子ども

# 背景 震災後の子どもたちの状況



# 背景 震災後の子どもの状況

岩手沿岸でトラウマ反応のある小中高生



1 / 8

公的な調査でも、ケアの必要な子どもが多い結果

岩手沿岸12市町村で要サポートの小中高生

2,691人



約8人に1人の割合（13.1%）

- 沿岸は不登校の割合が高い
- 自己有用感の低下を実感  
（学校現場の声）
- 沿岸でDV相談件数の増加  
（親のストレスの増加）
- 専門家の間ではケアの長期化を予想

※ = 出典

岩手県教育委員会 令和元年度  
「心とからだの健康観察」の  
集計結果

優先的に教育相談をしてほしい児童  
生徒（要サポート）の人数。要サ  
ポート=4種類のトラウマ反応項目の  
うち、1項目でも該当する児童生徒

# 背景 震災後の 子どもの状況

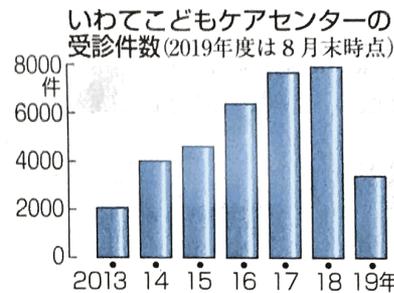
## いわて こどもケアセンター

- 新規受診は数ヶ月待ち
- 治療の長期化
- 時間を経て不調を訴える例も

息の長い支援体制が求められる

# 被災地の子 心のケア増

## 18年度・いわてセンター



県議会12月定例会は10日、東日本大震災津波復興特別委員会(高橋元委員長)を開いた。県は被災地の子どもの心をケアする「いわてこどもケアセンター」の2018年度の受診数が7900件で、過去最多だったと説明した。治療の長期化のほか、時間を経て不調を訴える例もあり、息の長い支援体制が求められている。

県によると、同センターは心のケアを中長期的に担う拠点として13年度に開設。県の委託で岩手医大が

運営する。受診数は13年度の2063件から年々増加し、17、18年度は7千件台。本年度は8月末時点で3391件と前年度を上回るペースにある。

18年度受診者の年代別は未就学児9・8%、小学生45・7%、中学生32・2%、高校生12・3%。震災を経験していない未就学児の受診も一定数ある。

同センターは児童精神科医が週5日診療に当たるほか、県立宮古、釜石、大船渡の各病院で週1回の巡回

過去最多  
7900件受診

時間経て不調訴えも

会 議 委  
復 興 特 別

診療を実施。運営費には国の復興財源を充ててきた。同大児童精神科の八木淳子診療部長によると、子どもの生活環境の変化やストレスの長期化などで数年を経た苦悩が表れる場合もある。「トラウマの子どもに与える影響への理解と支援、介入の継続が必要だ」

# 震災後母親うつ深刻

## 精神不調 出産72人中21人 文科省研究班

岩手、宮城、福島県の東北3県で東日本大震災(2011年)直後に生まれた子どもとその母親を対象に、文科省研究班(代表八木淳子・岩手医科大学講師)が実施した調査で、72人の母親のうち21人がうつなど精神面の不調を抱えていることが分かった。親の抑うつや不安状態は、子どもの発達遅れなどにつながる可能性があり、専門家は子ども被災の有無にかかわらず、子育て家庭へのケアの充実を求めている。

大きな災害の直後に生まれ、津波被害が大きい26組。厚生労働省によると、出産1カ月後に産後うつ病を発症した疑いのある母親は8・4%(13年度)。研究班は、産後ではなく子が3〜4歳時点で調べており、うつ以外の症状も含まれるが、精神不調のみならぬ割合の高いことが分かる。また、子どもの発達状況を把握するため、絵画を使って

って語彙力を問うなど4種類のテストを実施。4人に1人は認知機能の発達が遅れている疑いがあり、じつとしていられないなどの問題行動がみられる子ども約2割に達した。いずれも標準を上回っていた。

計約250組を調べた。母親の精神状態は最初の調査と同じ傾向が出ているとい。変化によって出産した母がストレスを抱え、幼い子どもの発達との関連を分析し、子どもが中学を卒業するまで同じ親子への調査を続ける。

「いってこともケアセンター」(岩手県矢巾町)副

センター長も務める八木センは「震災後の生活環境の変化によって出産した母がストレスを抱え、幼い子どもの発達との関連を分析し、子どもが中学を卒業するまで同じ親子への調査を続ける。」

「震災後生まれの子の親にも支援が必要だ」と話す。

【黒田阿紗子

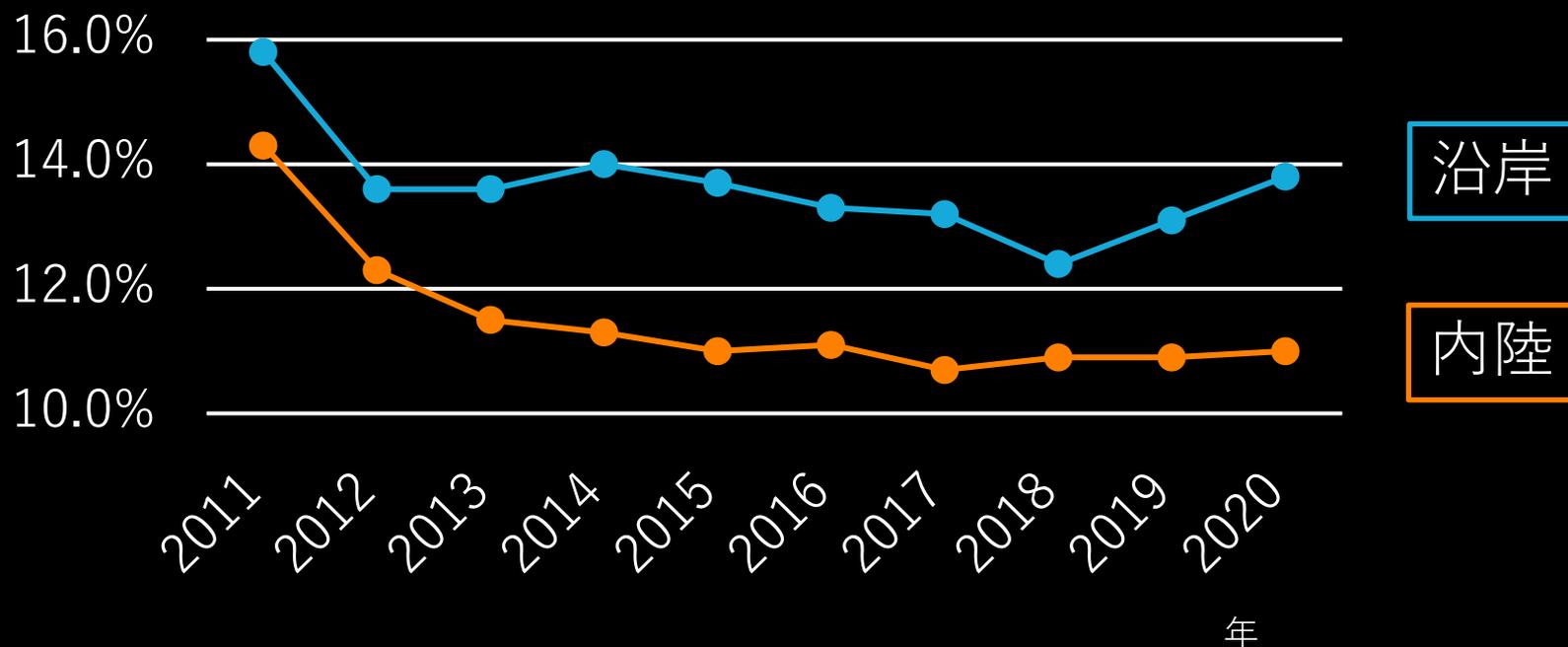
# 背景 震災後に生まれた子どもケアも必要

## 発達課題 → 標準を上回る数

- 認知機能の発達の遅れの疑い 【4人に1人】
  - じっとしてられない等の問題行動 【約2割】
- ## 母親の不安が影響

# 時間を経てもケアが必要

## 要サポートの割合



- 不登校の割合が高い
- 自己有用感が低い（学校現場の実感）
- 阪神淡路大震災から20年以上経てからトラウマ反応を示すケースも

出典 岩手県教育委員会

「心とからだの健康観察」  
の集計結果

子どもたちが  
安心して育つために  
何かできないか…

# 転機は 馬との出会い



仮設に馬を連れて 2014.5



ホーストレッキング 2014.5



馬と地域の親和性「懐かしいなあ」



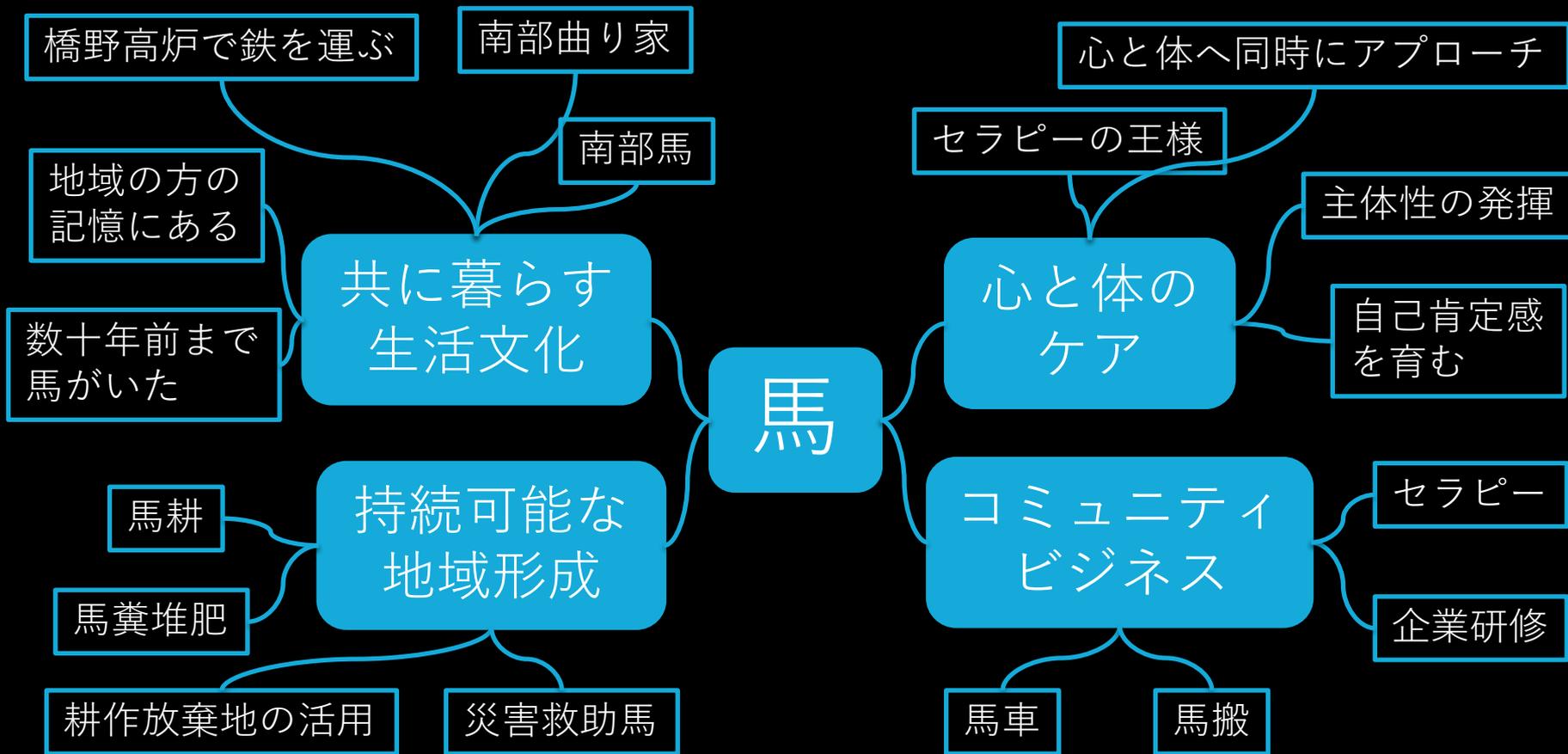
1957年5月

橋野町



馬と働く（馬耕）

# なぜ、馬なのか？



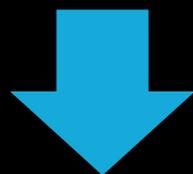
地域文化の再生 & 子どもケア

# 立ちふさがる壁と決断

【2014.5】 テストプログラム

半年たっても拠点は見つからない…

【2014.12】 動き始めないと、何も変わらない  
「釜援隊を辞めて、馬PJに専念しよう」



【2015.1】 築90年の古民家「曲り家」が見つかる！



古民家で馬と共生する文化を再生







サポーター  
延800名  
以上





2016.4 どさんこ2頭がやってきた





大好きだった町  
大切な物を無くした子に  
母は、馬に思いを託す

佐竹 惇希さん、母・文恵さん



# 震災当時 3歳

私の姿が見えなくなると泣き叫ぶ

自宅でトイレに行く時も常に一緒でした

三陸駒舎 利用開始時

小学4年

学校では、担任の先生を叩いたり、

蹴ったりしていました







色々な所から支援を受ける中で、  
私自身もこれまでのことを堂々と  
話せるように、強くなりました

地域がとても大事

障がいのある子は 地域の理解がなくては  
生きていくのが困難で難しい事だから  
支え合って行って欲しい

えっ、惇希が他の子と遊ぶんですか？

元々惇希は自閉症で、みんなと遊ばない、  
仲間に入れられないというイメージでした

でもここに来ると

そういう障害があるのを忘れます

三陸駒舎で一番良かったことは、  
「馬の世話」です

津波で亡くなった同級生もいます

馬を通して

命の輪がつながっていることを

惇希には知って欲しい



SAKURA  
LIPPER  
ALL WEATHER  
PROTECT



# 馬の暮らし型セラピー 3つの効果

疑似歩行、馬の背中揺れ

からだ

馬の暮らし

脳・感覚

こころ

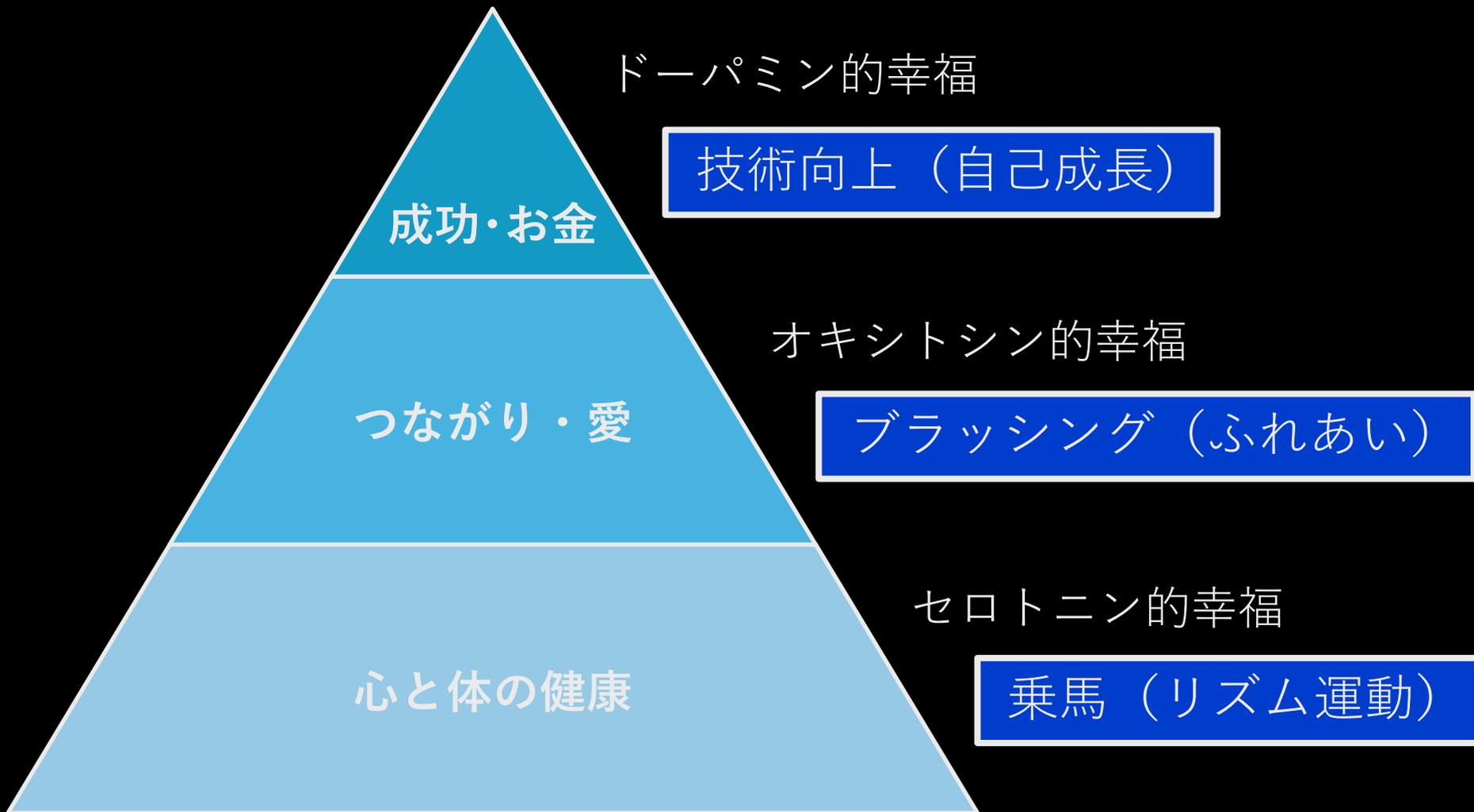
五感+二覚  
(前庭覚、固有覚)  
感覚統合に最適

自己有用感  
主体性

欧米では、保険が適応



# 馬は、すべての幸せホルモンをもたらす



動画 三陸駒舎 ホースセラピー



# 馬に出会い、笑顔に！

重荷だった  
モノ、肩が  
楽になった



馬の気持ちを考えな  
がら触れ合え、コ  
ミュニケーションが  
取れて良かった

発達が遅くて立  
てなかった子ど  
もが、立てるよ  
うになりました

色んなことができる子  
どもを自由に観察でき  
て、心が癒やされた

指先が器用に  
なって、ブロッ  
ク遊びや絵を描  
くようになりました

姿勢と体幹がとても良  
くなり、長時間座れる  
ようになった



# プロジェクトの可能性

1. 子ども達のケア、次世代の育成
2. 地域文化の再生、地域の誇りを取り戻す
3. 多様な参加と交流（地元民、復興支援、地域活性、古民家、馬、子ども、福祉…）
4. エコツーリズム、ヘルスツーリズム
5. 収益性、コミュニティビジネス化

# 課題

## 1. コンテンツの開発

- 馬、古民家を活かした新たなサービス
- 地域資源の活用（耕作放棄地、世界遺産、郷土料理…）

## 2. リカバリーのストーリー集め

- セラピー効果を具体で伝える → 制度外の受け皿づくりへ
- 専門家の協力
- ケアが必要な子どもとの接点づくり

## 3. 認知、理解の促進

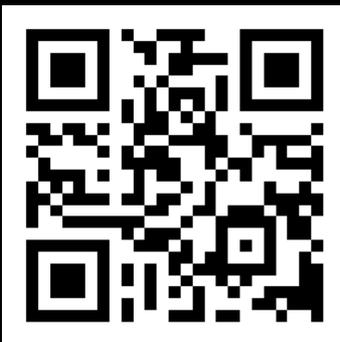
- プロモーション、広報戦略の立案
- 支援者の獲得（ボランティア、寄付者など）

どんなことを掘り下げて欲しい？

---

パネルトーク

ホースセラピーを  
ヒモ解く9つの視点  
～なぜ効果があるの？



ちゃんと儲かるの？  
～三陸駒舎の事業モデル、  
経営を分析

五感は古い、  
七感で子どもは育つ！  
～感覚統合×自然体験

虐待・貧困・トラウマ…  
困難を抱える子に何ができる？  
～子どもの課題×自然体験

馬先生は、  
指導者の育成に最適！  
～心身一致のコミュニケーション

ホースセラピーからSDGs・  
持続可能な地域へ  
～馬、福祉、地域資源をつなぐ

3つの効果 と 9つの視点

---

ホースセラピーをヒモ解く

# 馬の力はスゴイ

馬が先生







# 馬の暮らし型セラピー 3つの効果

---



# 馬の暮らし型セラピー 3つの効果

---



逃げるが  
勝ち

馬は人を  
覚えない

子ども中心  
⇒馬中心

# 逃げるが 勝ち

馬は  
安全、安心、快適  
を求める



馬は人を  
覚えない？

一期一会

誰とでも平等に

接する



子ども中心  
↓  
馬中心

馬中心に  
考えることで、  
枠を越える



# 馬の暮らし型セラピー 3つの効果

---



逃げるが  
勝ち

馬は人を  
覚えな

子ども中心  
⇒馬中心

# 馬の暮らし型セラピー 3つの効果

---



疑似歩行

# 疑似歩行

馬の背中の揺れは、  
人の骨盤と同じ動き



# 馬の暮らし型セラピー 3つの効果

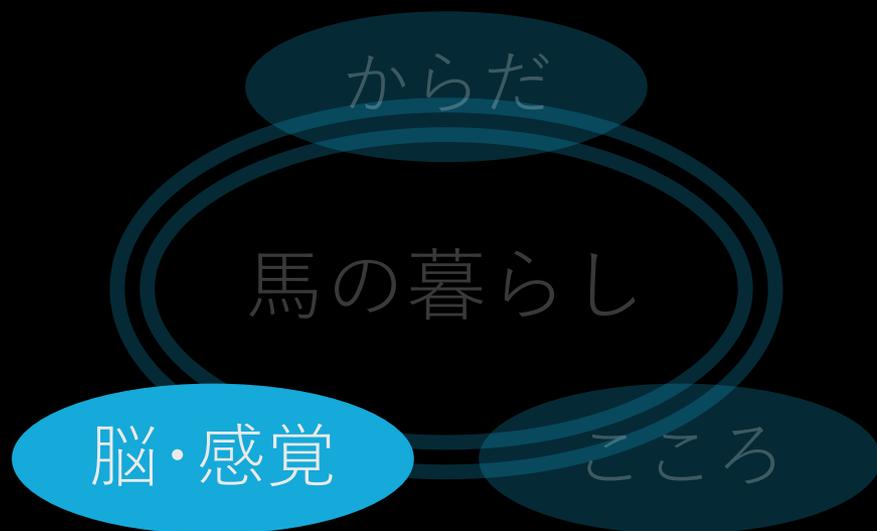
---



疑似歩行

# 馬の暮らし型セラピー 3つの効果

---



七感を  
ひらく

意味ある  
活動

# 七感を ひらく

五感 + 二覚

前庭覚、固有覚

感覚が統合する



# 意味ある 活動

エサやり、掃除、調教、  
ブラッシング、修繕…

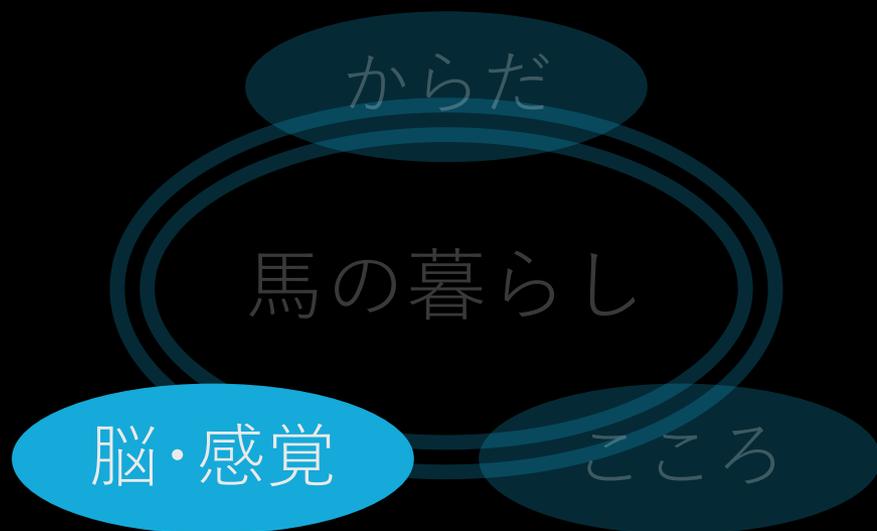
馬を中心に

多様な活動がつながる



# 馬の暮らし型セラピー 3つの効果

---

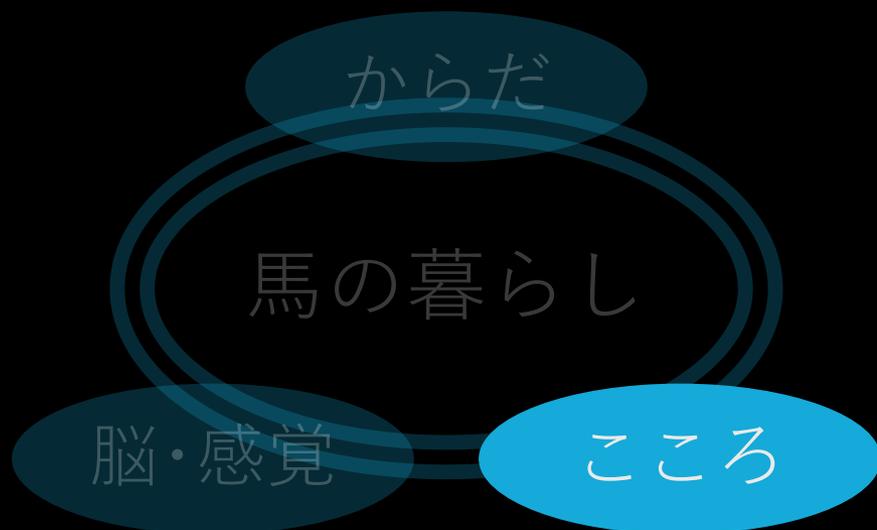


七感を  
ひらく

意味ある  
活動

# 馬の暮らし型セラピー 3つの効果

---



KY

空気読める？

マインド  
フルネス

ケアされる  
⇒ケアする

K Y

空気読める  
& 読めない

ミラーニューロン  
が発達



# マインド フルネス

過去を  
引きずらない

何度でも  
挑戦できる



ケアされる  
↓  
ケアする

馬から自分が  
必要とされる

自分は  
役に立つ存在



感覚統合×自然体験

---

五感は古い 七感で子どもは育つ！

# 感覚統合とは？

ヒトが自分の身体や環境からの感覚情報  
を整える神経学的過程。

環境の中で自己を有効に使うのを可能にする。

Ayres 1972

# 感覚統合理論の3つの視点

視点 1

感覚は脳の  
栄養素

視点 2

感覚入力の  
交通整理

視点 3

発達の積木の  
積み上げ

# 感覚統合理論の3つの視点

視点 1

感覚は脳の  
栄養素

視点 2

感覚入力  
の  
交通整理

視点 3

発達  
の積木の  
積み上げ

# 1 感覚の脳の栄養素

どんな感覚を  
つかっていますか？

いわゆる五感

嗅覚 味覚 視覚 聴覚

触覚

前庭覚

固有覚

【身の回りの情報】

→ 自覚しやすい

【自分の体の情報】

→ 自覚しにくい



# 触覚

---

痛み

温度

包まれている感じ



# 触覚 はたらき、トラブル

## はたらき

- 防衛
- 識別
- 情緒を安定
- ボディイメージの発達

## トラブル

- 触覚防衛反応
- 情緒の不安定さ

# 固有覚

---

筋肉への  
抵抗感や動きを  
感じる感覚

サンドバッグ

トランポリン

相撲



# 固有系 はたらき、トラブル

## はたらき

- 力の加減
- 運動のコントロール
- ボディイメージの発達
- 抗重力姿勢
- バランスを取る
- 情緒を安定させる

## トラブル

- 乱暴・力加減の難しさ
- 身体・手の使い方が不器用

# 前庭覚

---

揺れやスピード

傾きを

感じる感覚

滑り台

ブランコ

ぐるぐる回る



# 前庭系 はたらき、トラブル

## はたらき

- 覚醒を調整
- 抗重力姿勢
- バランスをとる
- 眼球運動をサポート
- ボディイメージの発達

## トラブル

- 姿勢保持の問題
- 覚醒の不安定さ
- 眼球運動の拙劣さ
- 自立神経の問題

# 感覚統合理論の3つの視点

視点 1

感覚は脳の  
栄養素

視点 2

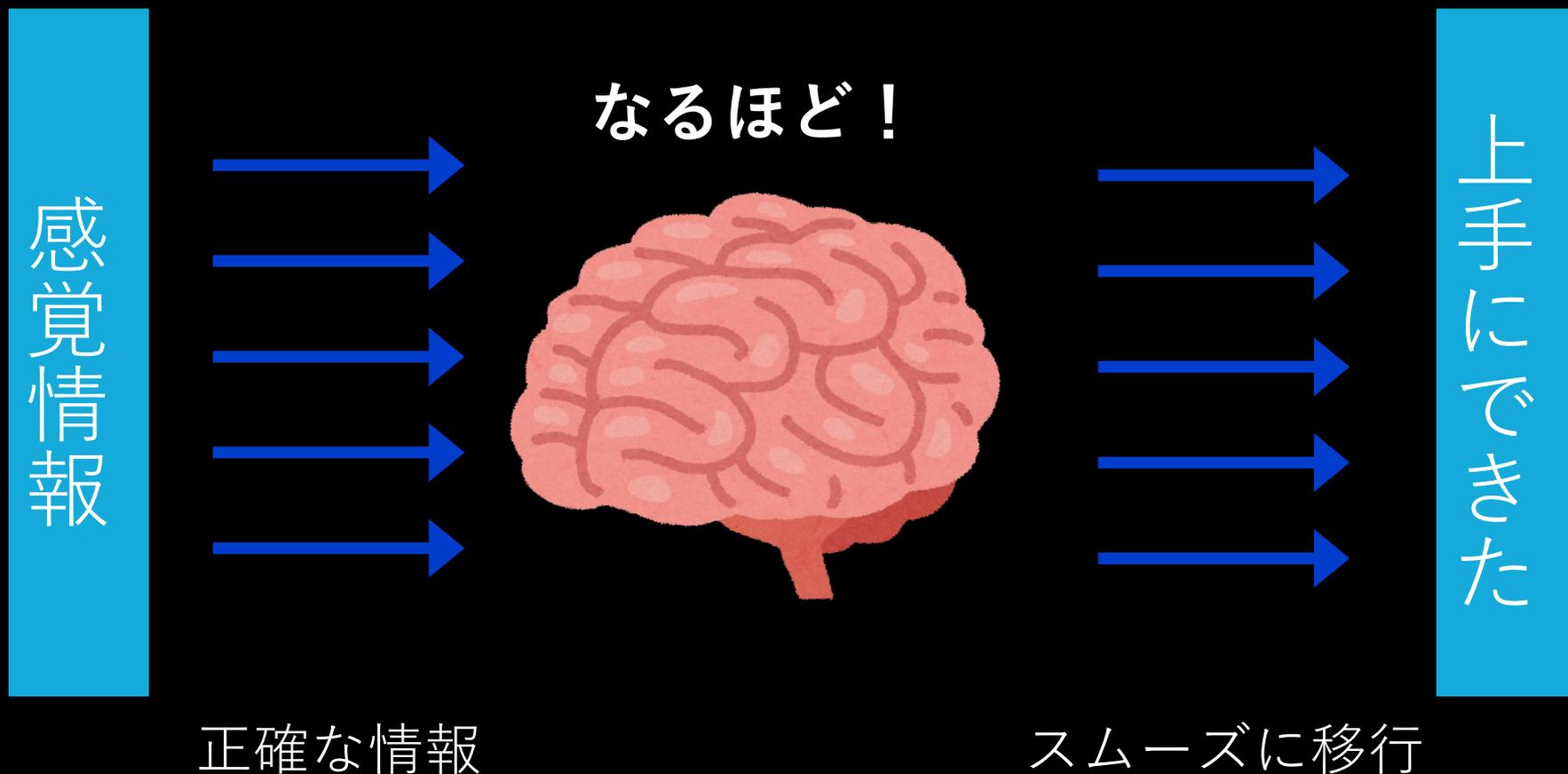
感覚入力の  
交通整理

視点 3

発達の積木の  
積み上げ

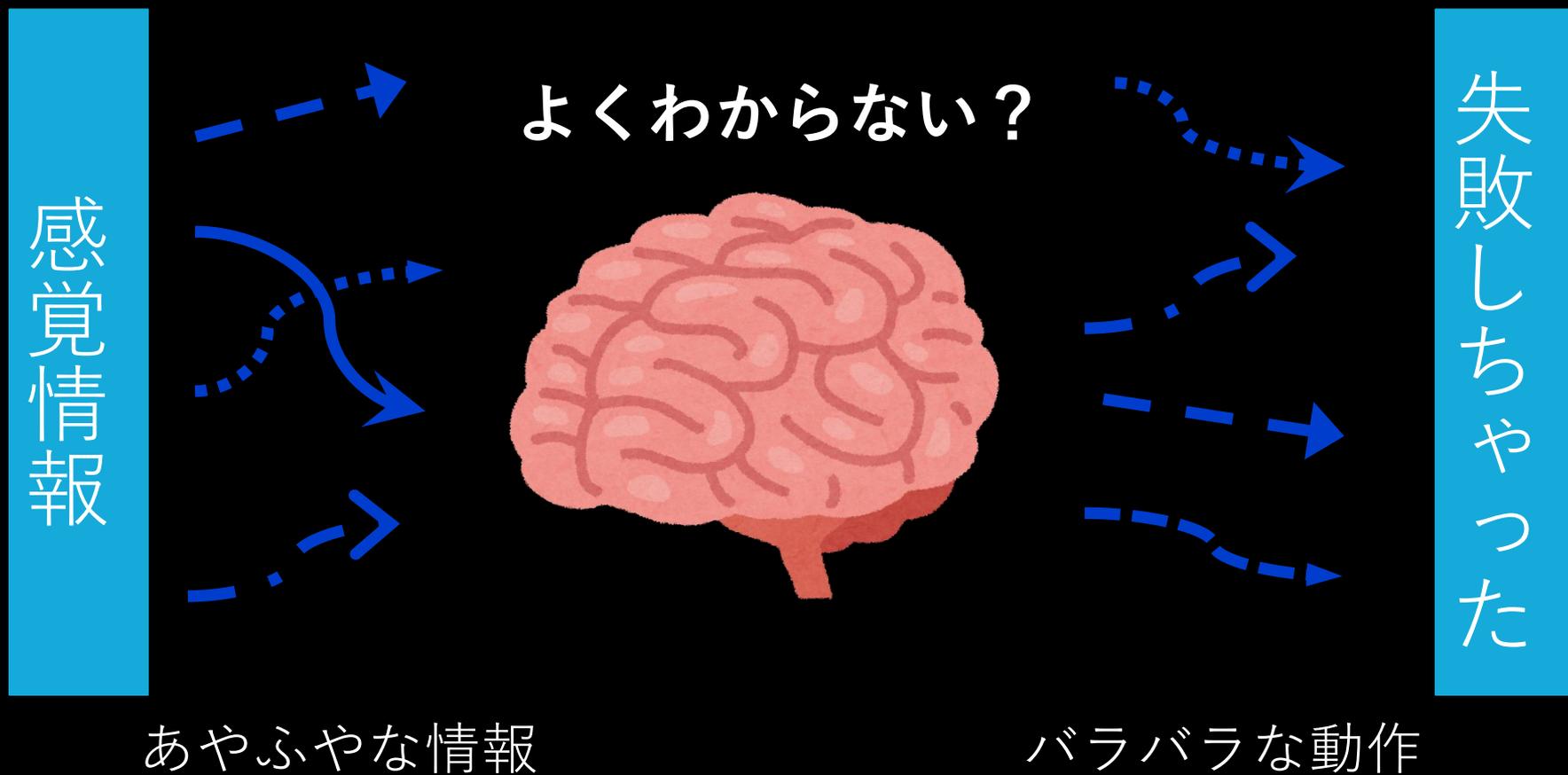
## 視点2 感覚入力 of 交通整理

○ 感覚統合がうまく機能しているとき



## 視点2 感覚入力 of 交通整理

× 感覚統合がうまく機能していないとき



# 感覚統合理論の3つの視点

視点 1

感覚は脳の  
栄養素

視点 2

感覚入力  
の  
交通整理

視点 3

発達  
の積木の  
積み上げ

# 視点3 発達 of 積木の積み上げ

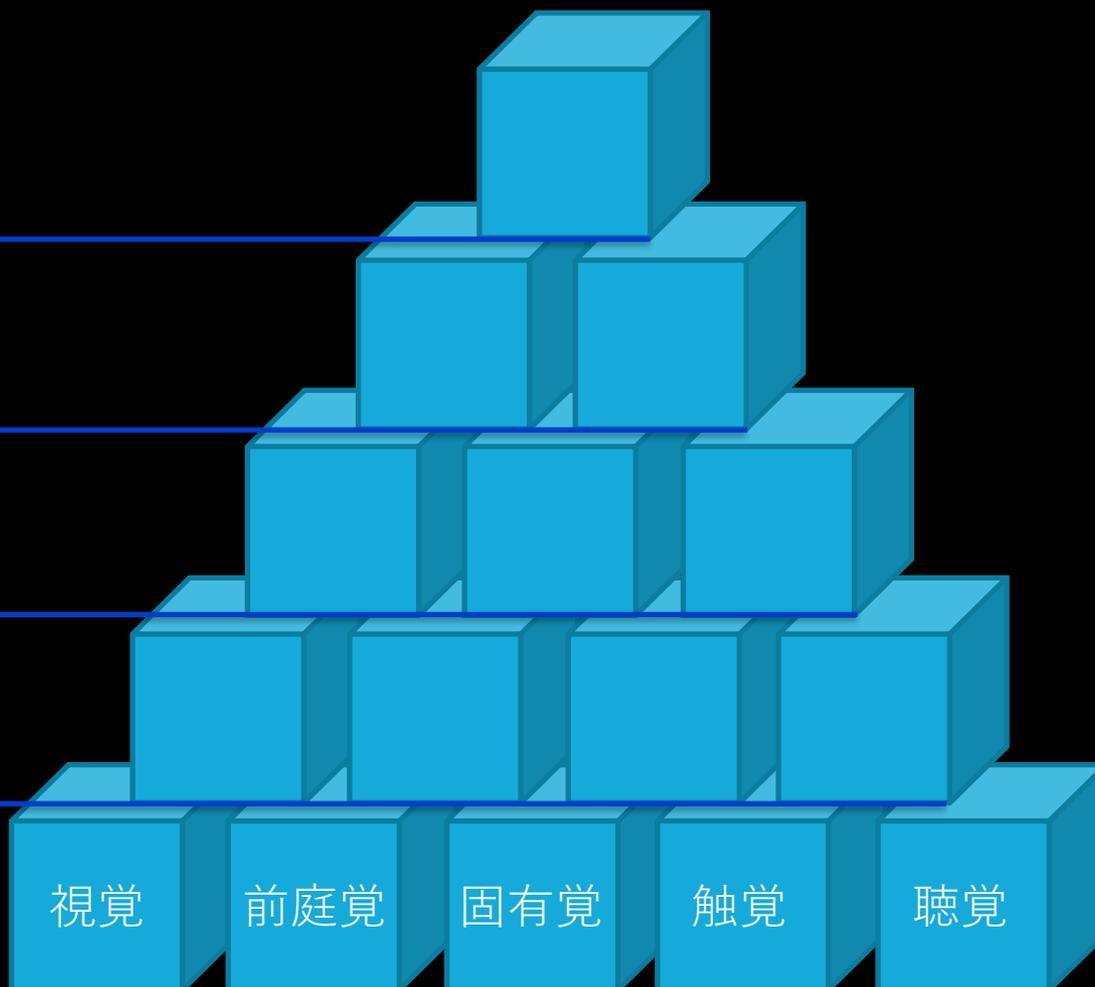
最終産物  
(教科学習など)

微細運動、言葉  
など

ボディイメージ  
運動の組み立てなど

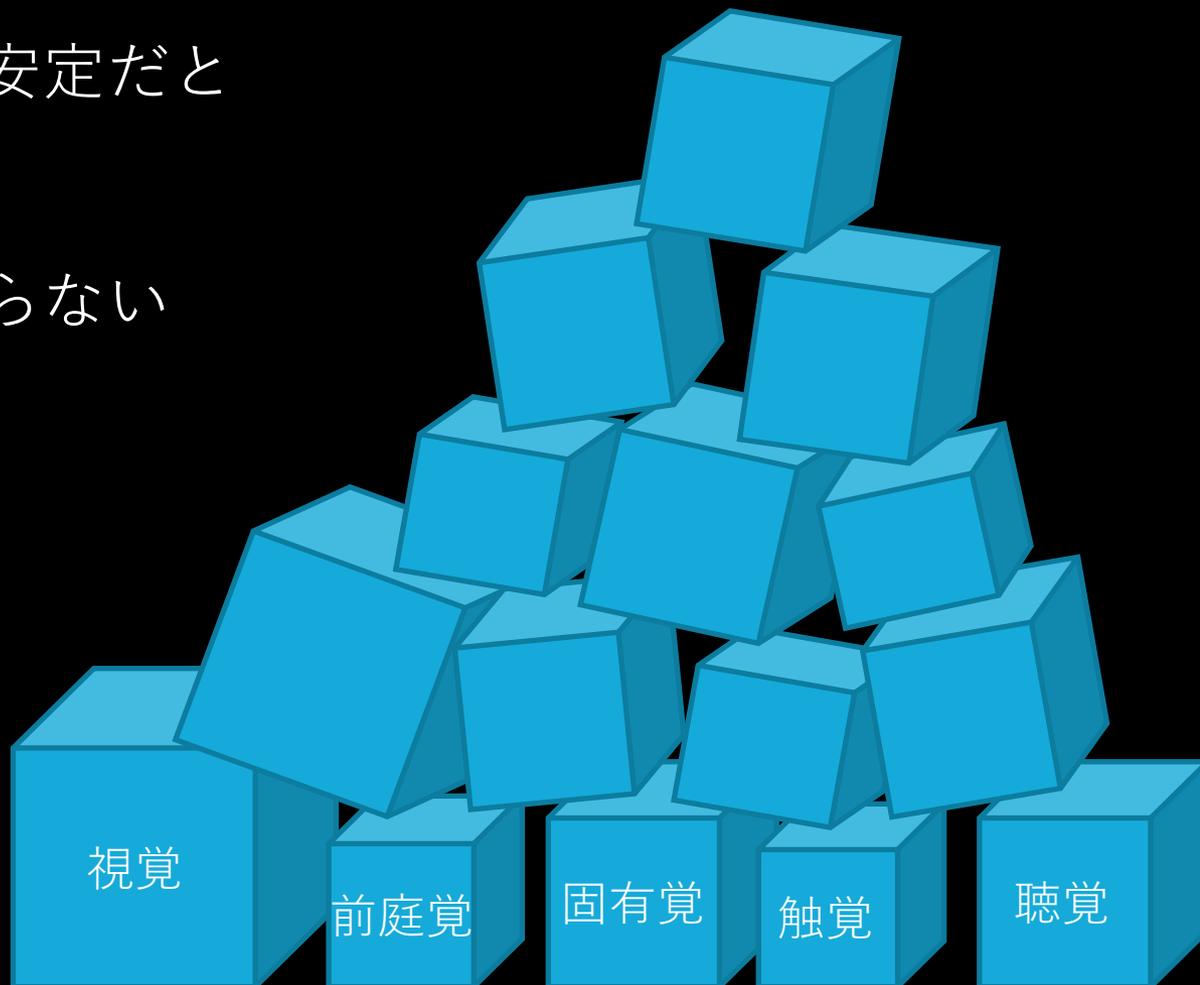
姿勢・眼球運動  
など

基本となる  
感覚系



## 視点3 発達 of 積木の積み上げ

感覚の土台が不安定だと  
上の積木が  
うまく積み上がらない



# 視点3 発達 of 積木の積み上げ

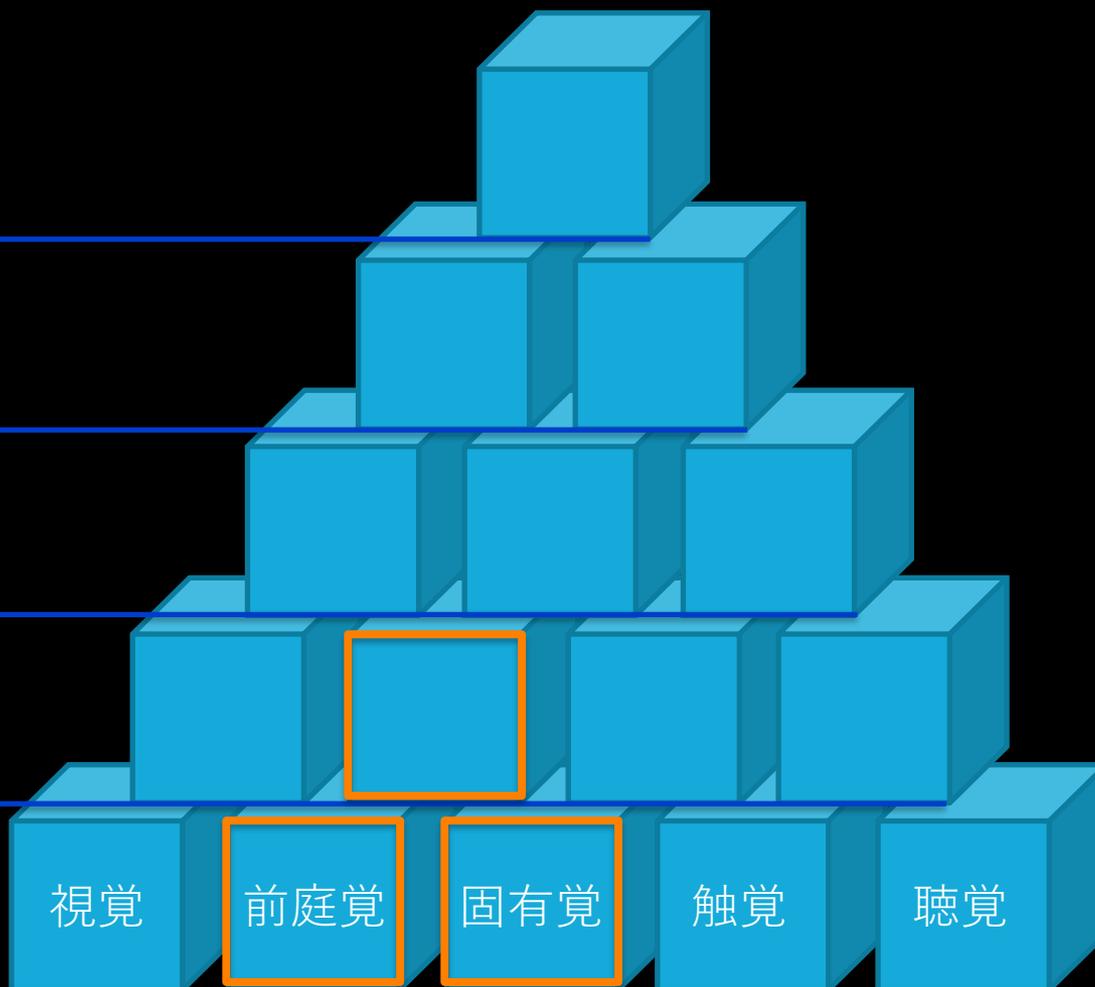
最終産物  
(教科学習など)

微細運動、言葉  
など

ボディイメージ  
運動の組み立てなど

姿勢・眼球運動  
など

基本となる  
感覚系



# 視点3 発達 of 積木の積み上げ

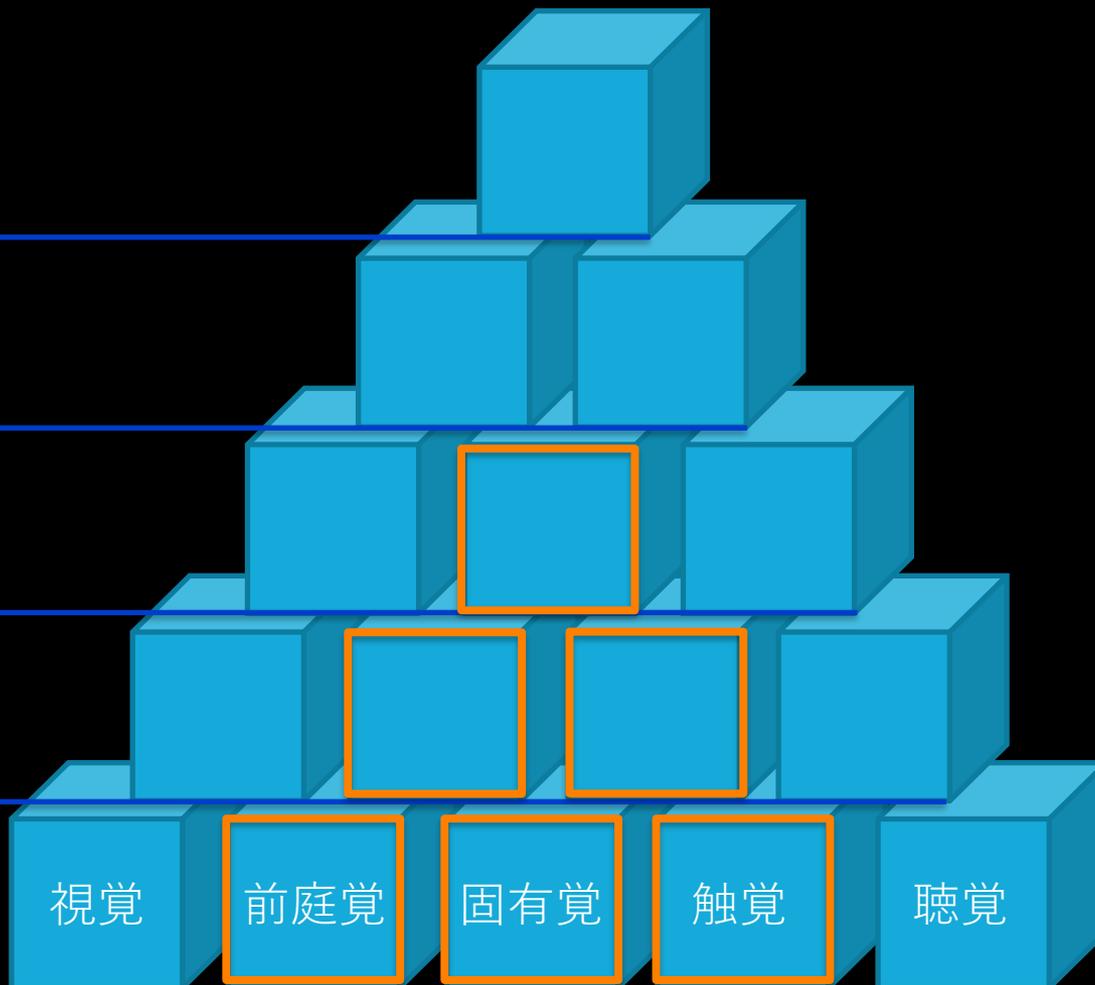
最終産物  
(教科学習など)

微細運動、言葉  
など

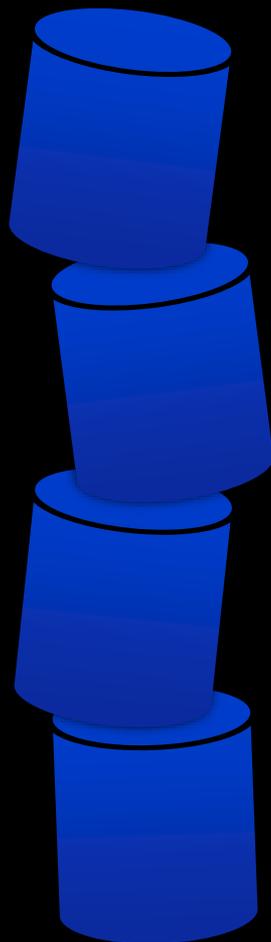
**ボディイメージ**  
運動の組み立てなど

姿勢・眼球運動  
など

基本となる  
感覚系



# 発達 の 積木 の 積み上げ



学ぶために  
必要な能力

学習能力、複雑な運動技術、注意力の調整  
秩序がとれた行動、自尊心と自己制御

知覚運動  
協応

聴覚・視覚による識別能力、発話と言語能力  
目と手の動作の連携、目的を持って行動する能力

感覚一運動  
統合能力

自分の体の全体像や各部分の認識、両側協応  
利き手の発達、行為機能

基礎的な  
感覚系

触る、バランスと動き、体の各部分の配置  
視覚・聴覚等その他の感覚

# 脳の役割

## ◆よく生きていく（大脳新皮質）

– 意欲、創造、考える、喜び悲しみ

## ◆うまく生きていく（大脳）

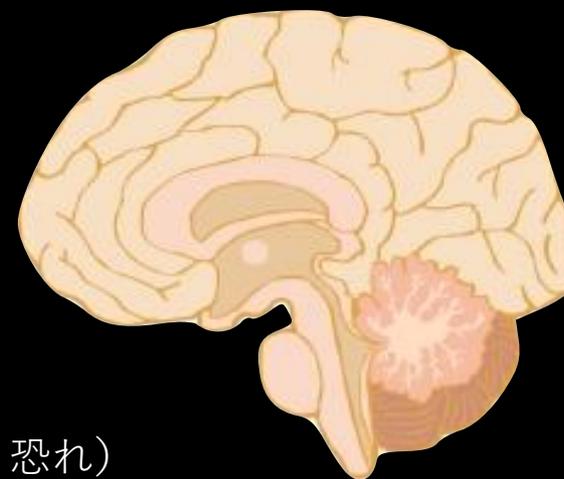
– 聞く、見る、覚える、手足を動かす

## ◆たくましく生きていく（大脳辺縁系）

– 本能（食欲、性欲、睡眠欲）、情動（快、怒り、深い、恐れ）

## ◆生きている（脳幹、脊髄系）

– 自律神経（呼吸、体温調整、消化、排泄、代謝）、反射（姿勢反射、脊髄反射）



# 感覚統合の問題

## 1. 感覚の調整

- － 敏感／鈍感、刺激を求める

## 2. 感覚の識別

- － 感覚の識別が難しい（例：解像度が高い／低い）
- － 感覚のフィルター

## 3. 姿勢や器用さ

- － 姿勢がグニャグニャ、ぶきっちょ

# 発達性協調運動障害（DCD）

- 座り続けられない
- 徐々に字が乱れる
- ジャンプは出来ても  
→縄飛びが苦手
- バランスを取るのが苦手  
→スキップできない
- 5-11歳 5-6%  
(7歳で2%重症)
- 1年後の追跡調査  
では変動なし
- ADHDやASDに  
合併しやすい

# 感覚統合の運動要素



使いこなす  
(身体図式)

ほどよく使う  
(力加減)



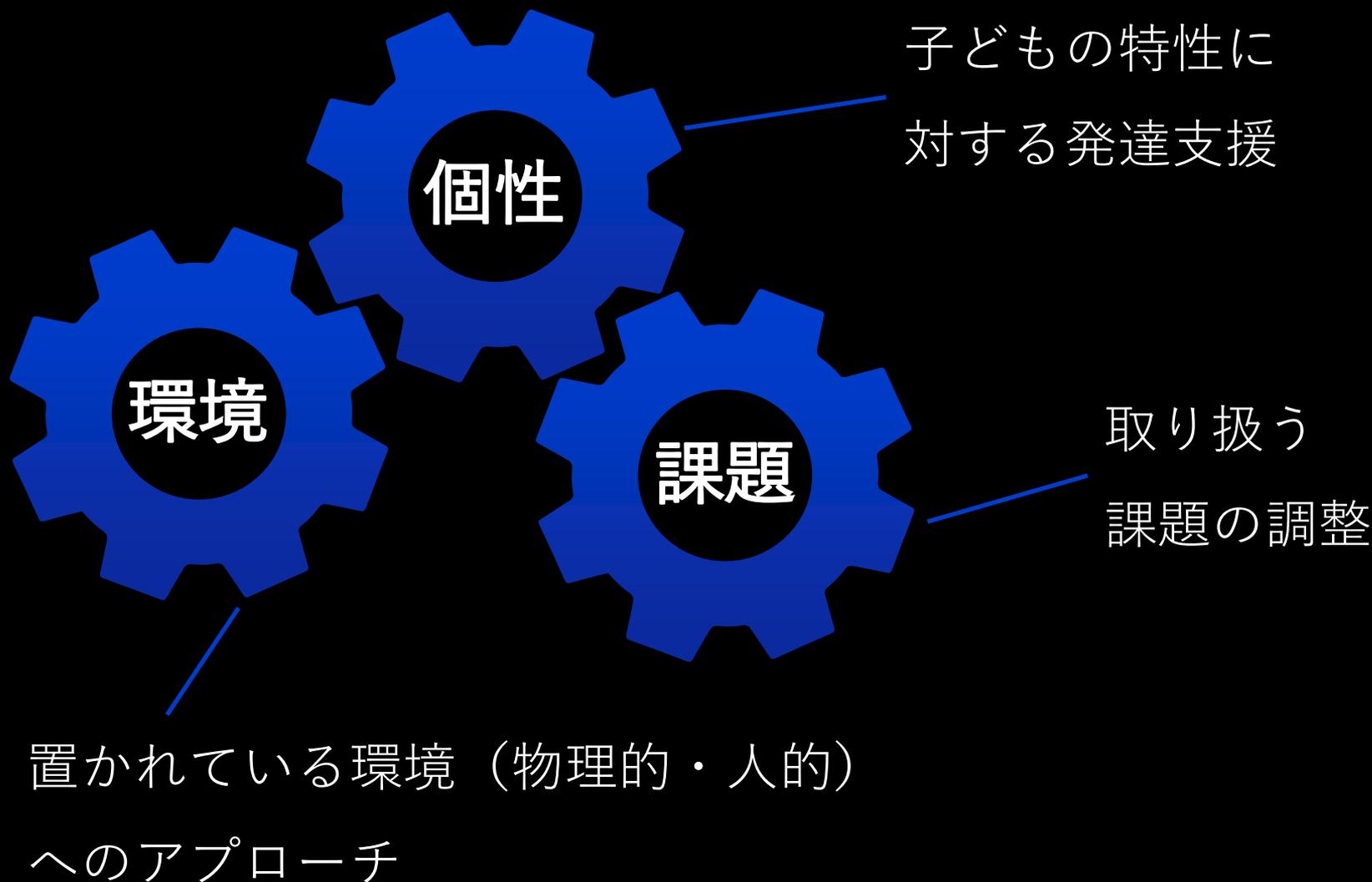
同時に  
滑らかに動かす  
(両側協応・順序立て)



保ち支える  
(姿勢保持・バランス)



# 子ども支援の3つの視点



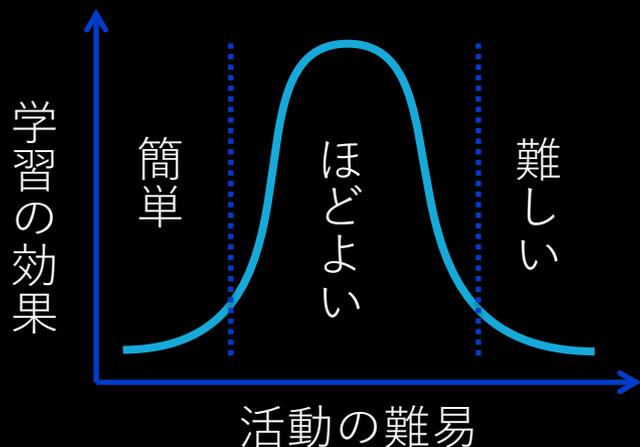
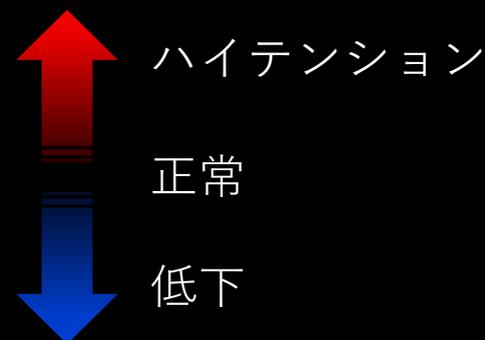
# 子どもと活動を捉える2つの視点

## (1) 適応反応

- 楽しい！
- 集中してる

## (2) 覚醒レベル

- 脳の活動状態



- 簡単すぎず、難しすぎ
- 子どものニーズから入る

5つの理由

---

なんで自然体験は  
感覚統合によいの？

# 1. その子の育ちにつながる活動が見えてくる



## 2.非定型的な環境（地形、季節などの変化）



### 3. その子にあった場が選べる



## 4.活動の難易が調整しやすい



# 5.意味のある活動として提供される



# なんで自然体験は感覚統合に良いの？

1. その子の育ちにつながる活動が見えてくる
2. 非定型的な環境（地形、季節などの変化）
3. その子にあった場が選べる
4. 活動の難易が調整しやすい
5. 意味のある活動として提供される

活動を分析してみよう

---

子どもの発達につながる

プログラム・環境のデザイン

# 活動を分析する

- ①活動名
- ②必要な空間
- ③方法
- ④活動の特性  
(感覚/運動/言語/社会性/認知/記憶/学習)
- ⑤注意点
- ⑥応用、展開、段階付け
- ⑦その他コメント、感想

# 感覚から自然体験を考える

## ◆感覚

- 前庭覚
- 固有覚
- 触覚など

## ◆対象

- 未就学児
- 小学生

## ◆条件

- フィールド
- 季節
- 天候

## 参考書籍・出典

- でこぼこした発達の子どもたち  
(監訳 土田玲子、金子書房)
- 発達が気になる子の感覚統合  
(著 木村順、学研)
- 学童期の感覚統合遊び  
(監修 太田篤志、クリエイツかもがわ)
- 子ども理解からはじめる感覚統合遊び  
(監修 加藤寿宏、クリエイツかもがわ)



## 参考情報

- 日本感覚統合学会
  - <http://www.si-japan.net/>  
「入門講習会 基礎コース」がオススメ
- 感覚統合の検査表
  - <http://jsi-assessment.info/jsi-mini.html>  
感覚の特性の評価の参考に JSI-mini

子どもの課題×自然体験

---

虐待、貧困、トラウマ…  
困難を抱える子に何が出来る？

## 経済的 貧困

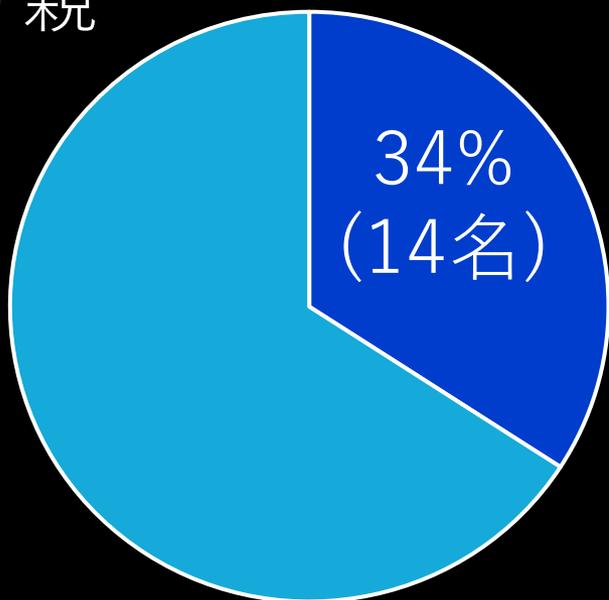
## 関係性の 貧困

- 7人に1人の子どもが  
相対的貧困（13.5%）
- 母子世帯の貧困率48.1%

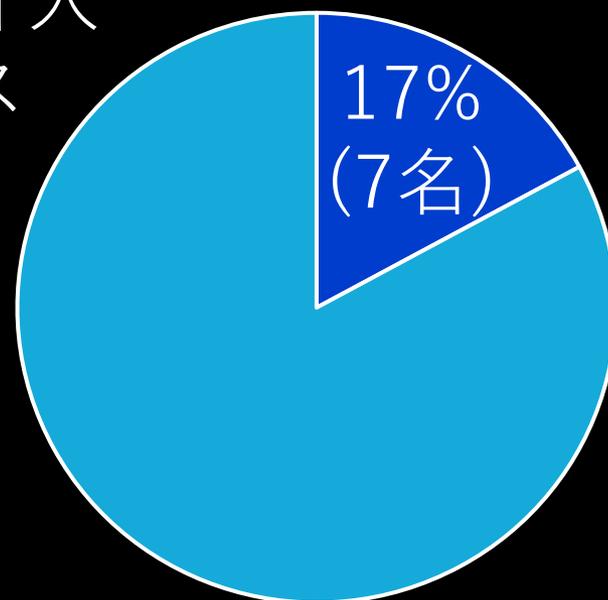
# 三陸駒舎の利用者の現状

登録者 41名

ひとり親  
家庭



児相介入  
ケース



- 不登校、登校しぶりの子どもも
- 定期的・継続的な関わりが持てる（週5～月数回）

# 経済格差と認知・非認知能力

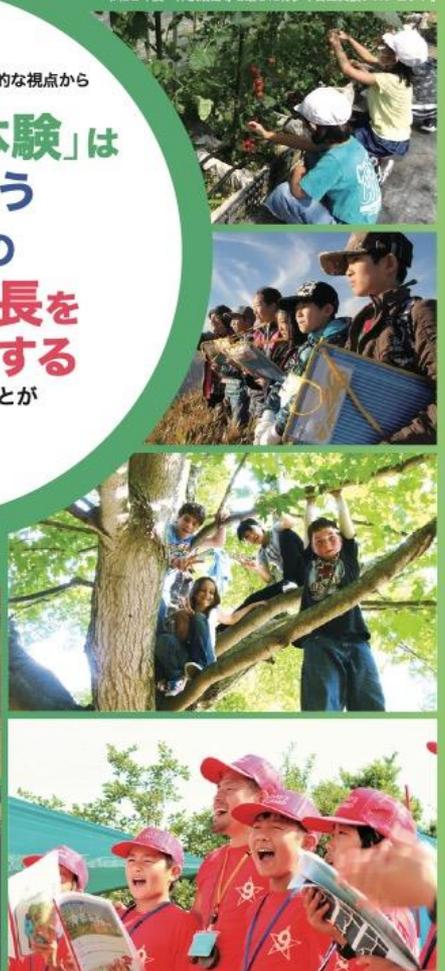
- 貧困状態の子どもの学力は10歳を境に急激に低下
- 貧困下でも学力の高い子どもは、非認知能力が高い
- 基本的な非認知能力は、低学年時点から差が大きい

## 非認知能力

意欲、自制心、やり抜く力、社会性、自律性

# 子どもの非認知能力を育む

令和2年度「体験活動等を通じた青少年自立支援プロジェクト」



青少年の体験活動などの効果を経年的な視点から分析を行ったところ、

**子どもの頃の「体験」は  
未来社会を担う  
子どもたちの  
健やかな成長を  
確かなものにする**

ために必要な要素であることが  
見えてきました

文部科学省  
MINISTRY OF EDUCATION,  
CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY JAPAN

調査結果は  
こちら

- 体験活動は  
子どもの自尊心を育む
- 体験をよくしていると、  
経済状況に関わらず、  
良い影響が見られる

出典 文部科学省 令和2年度青少年の体験活動に関する調査研究結果報告 ～21世紀出生児縦断調査を活用した体験活動の効果等分析結果について～

# 馬が心をケアする5つのヒミツ

## 1. 無気力な私を支えてくれる

→自分は役に立つ、一歩踏み出す勇気

## 2. ケアする側 から「ケアされる側」へ

→主体性から「自分自身を変えたい」心のケアの核へ

## 3. 馬は誰とでも平等に向き合う

→ロールプレイではなく、ガチの体験

## 4. 馬は「空気を読む」

→私の心の状態を映す「鏡」

## 5. 馬は人を覚えない

→何度でも挑戦できる

# 馬とトラウマケア

## 馬と自然災害の共通点



自分よりも圧倒的に強い



言葉が通じない

## 相違点

自然災害



一方的に被害を受けトラウマに

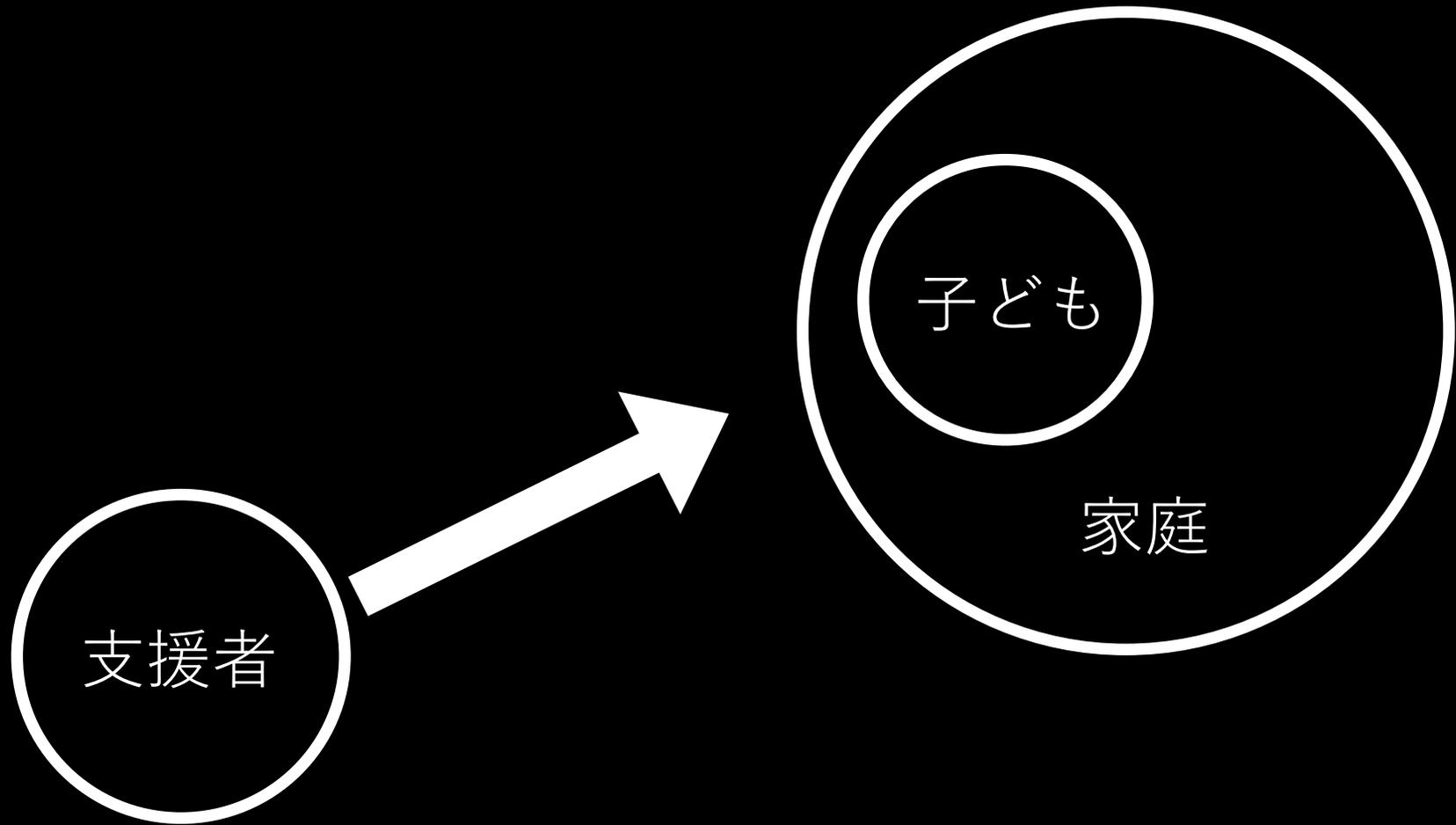
馬



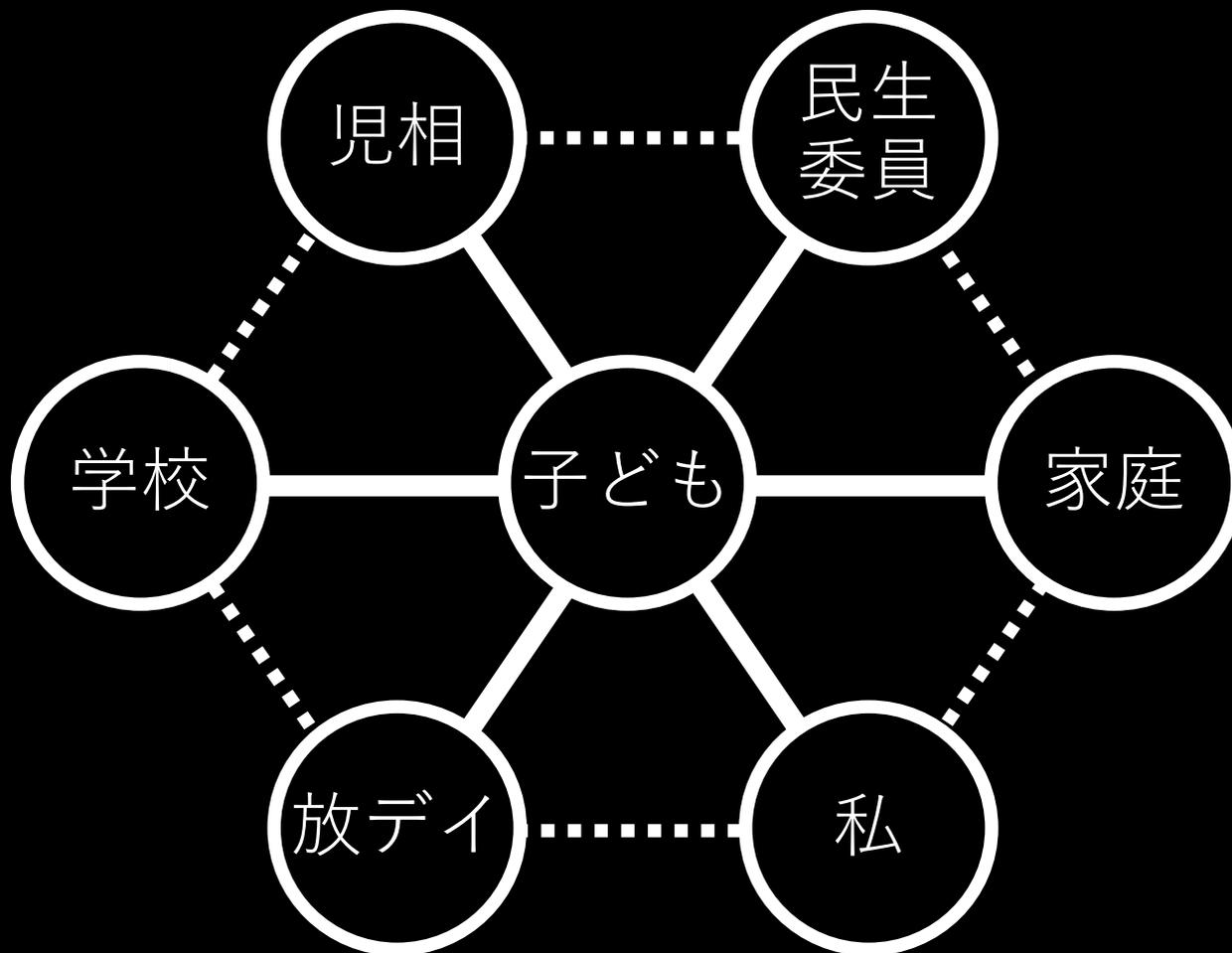
適切に関われれば  
コミュニケーションがとれる

最終的に馬に乗ってコントロールする、という  
「トラウマを克服する具体的な体験」が提供される

# 直接的な支援は限界 ～家庭養育モデル



# 地域全体で子どもを支える ～社会的養育



社会的相続は、家庭以外でも可能

馬×感覚統合×自然体験

---

こんな感じで活動しています









































































三陸駒舎の事業モデル、経営

---

ちゃんと儲かるの？

# クラウドファンディングで支援の輪を広げる

## いしわり

岩手をもっとおもしろく！ 岩手産のクラウドファンディング

会員登録

ログイン

① ホーム ② いしわりについて ③ プロジェクトをみる ④ よくある質問 ⑤ チャレンジする



馬と共に暮らす古民家再生 ～地域と子どもの元気を引き出す～

by 三陸駒舎 (さんりくこましゃ)

プロジェクト概要

活動状況 18

協力者の声 92



協力金額合計

¥1,259,000

目標金額：¥1,000,000

125%



終了



協力者数

92人



> このプロジェクトに協力する

協力者の声

2015/11/06 22:00:00にプロジェクトが成立しました



# 2017/12～ 障がい児セラピー事業開始

- 発達障害の子ども 6.5%
  - 療育を受けている子ども8.5%
- 国の福祉サービスを利用
  - 児童発達支援、放課後等デイサービス
- 一人ひとりの課題に寄り添ったプログラム
- 利用者の経済的負担を低減
  - 利用者は1割負担（更に月の上限負担の設定あり）
- 現在の実績 契約40名程度、延利用200人/月
  - 未就学～中学生、沿岸中心（宮古～釜石～陸前高田）



---

団体を分析して、  
事業をネタを考える

# 団体分析

内部要因

Strength (強み)

Weakness (弱み)

外部要因

Opportunity (機会)

Threat (脅威)

# 団体分析

内部要因

## Strength (強み)

- 馬、セラピーの提供
- 古民家
- 子ども健全育成
- 療育事業の指定
- 周辺の自然環境良好
- ボラ延1000人以上

## Weakness (弱み)

外部要因

## Opportunity (機会)

## Threat (脅威)

# 団体分析

内部要因

## Strength (強み)

- 馬、セラピーの提供
- 古民家
- 子ども健全育成
- 療育事業の指定
- 周辺の自然環境良好
- ボラ延1000人以上

## Weakness (弱み)

- 馬3頭、スタッフ少
- 馬場→狭い
- 情報発信力→弱い
- 収益構造→非多様
- 見込客リスト→少

外部要因

## Opportunity (機会)

## Threat (脅威)

# 団体分析

## 内部要因

### Strength (強み)

- 馬、セラピーの提供
- 古民家
- 子ども健全育成
- 療育事業の指定
- 周辺の自然環境良好
- ボラ延1000人以上

### Weakness (弱み)

- 馬3頭、スタッフ少
- 馬場→狭い
- 情報発信力→弱い
- 収益構造→非多様
- 見込客リスト→少

## 外部要因

### Opportunity (機会)

- 沿岸、療育施設→少
- 潜在顧客→多 (発達障がい児6.5%・要ケア13千人)
- 発達障がい関心→高
- 地域資源 (郷土料理、自然、空き家、耕作放棄地)
- 開疎化の需要up

### Threat (脅威)

# 団体分析

## 内部要因

### Strength (強み)

- 馬、セラピーの提供
- 古民家
- 子ども健全育成
- 療育事業の指定
- 周辺の自然環境良好
- ボラ延1000人以上

### Weakness (弱み)

- 馬3頭、スタッフ少
- 馬場→狭い
- 情報発信力→弱い
- 収益構造→非多様
- 見込客リスト→少

## 外部要因

### Opportunity (機会)

- 沿岸、療育施設→少
- 潜在顧客→多 (発達障がい児 6.5%・要ケア13千人)
- 発達障がい関心→高
- 地域資源 (郷土料理、自然、空き家、耕作放棄地)
- 開疎化の需要up

### Threat (脅威)

- 都市部から遠い
- 交通アクセス悪い
- 馬セラピー理解→低
- 少子化
- 報酬改定で収益→減
- 新型コロナ拡大

# 団体分析

## 内部要因

### Strength (強み)

- 馬、セラピーの提供
- 古民家
- 子ども健全育成
- 療育事業の指定
- 周辺自然环境良好
- ボラ延1000人以上

### Weakness (弱み)

- 馬3頭、スタッフ少
- 馬場→狭い
- 情報発信力→弱い
- 収益構造→非多様
- 見込客リスト→少

## 外部要因

### Opportunity (機会)

- 沿岸、療育施設→少
- 潜在顧客→多 (発達障がい児 6.5%・要ケア13千人)
- 発達障がい関心→高
- 地域資源 (郷土料理、自然、空き家、耕作放棄地)
- 開疎化の需要up

- 療育事業の推進
- 被災地の子どもケア
- 高付加価値の滞在型リトリート
- オルタナティブスクール

- スタッフ採用、育成
- マーケティング戦略の実行 (集客⇒見込客フォロー⇒販売⇒顧客化)
- マンスリー会員獲得

### Threat (脅威)

- 都市部から遠い
- 交通アクセス悪い
- 馬セラピー理解→低
- 少子化
- 報酬改定で収益→減
- 新型コロナ拡大

- 広報ツール作成 (セラピー認知理解up)
- Web・SNSの情報発信
- 暮らし型サービス (長期療養、山村留学など)

- 広報ツール作成 (会員獲得、支援者による拡散)
- 回転率up
- リピート率up

地域に根ざした新たな仕事づくり

---

次なる展開へ

## • 現状

- 障害児通所支援事業
  - 児童発達支援
  - 放課後等デイサービス



利用者 毎月延200名  
事業は、安定してきた

## • 課題

- 卒業後の子どもの受け皿
- 収益構造 → 単一的  
(新型コロナ影響の懸念)

# 誰もが幸せに暮らせるコミュニティ

～馬、福祉、地域資源をつなぐ～

- ゆるゆると無理なく
- ヒト、地域の個性を活かした関わり合い
- 居場所として、貢献感が感じられる

# ホースセラピーを基盤 としたまちづくり戦略

## 地域の巻き込み

- 地域の仕事のメニュー化
- イベント的な関わり
- マルシェ
- 地域通貨的な対価
- 物・コト交換

## 事業化

- ミニマルスタイルで開始
- まずは、「パン作り」から ⑨

## 目標設定

- 量的 — お金のやり取りを減らす
- 人が巻き込みやすい目標とは?

# 馬 × パン × 地域

地元の農家レストランと連携

製造場所として  
峠のカレーパン

石窯

馬で間伐材を集める

薪づくりの仕事

石窯の火の管理

耕作放棄地

馬糞の堆肥

小麦の栽培

馬耕

販売

定期購入・発送

地元の産直

馬×絵本カフェ的なイベント

絵本をつくる

その世界をカタチにする



[暮らしのガイド](#)[子育て・教育](#)[健康・福祉](#)[観光・文化](#)[事業者の方へ](#)[市政情報](#)[ホーム](#) > [カテゴリ](#) > [分野](#) > [税金](#) > [ふるさと納税](#)[ホーム](#) > [カテゴリ](#) > [分野](#) > [地方創生](#) > [SDGs推進](#)[ホーム](#) > [カテゴリ](#) > [分野](#) > [地方創生](#)[ホーム](#) > [カテゴリ](#) > [区分](#) > [新着情報](#)[ホーム](#) > [組織](#) > [総務企画部](#) > [総合政策課](#) > [オープンシティ推進室](#)

### 情報を探す

- よくある質問
- [分野から探す](#)
- [組織一覧から探す](#)
- [イベント一覧から探す](#)

### 便利情報ナビ

- [ごみの出し方](#)
- [公共交通機関](#)
- [施設マップ](#)
- [施設予約](#)
- [申請書](#)
- [相談窓口](#)
- [市へのアクセス](#)
- [広報紙](#)

### ライフイベント

- [妊娠・出産](#)

## ふるさと納税で地域社会の課題解決に取り組む団体を応援しませんか

公開日 2020年12月24日

更新日 2020年12月24日

### 釜石ふるさと寄附金（地域社会の課題解決に取り組む団体指定寄附）とは

NPO法人、市民活動団体、自治会、婦人会、PTAといった組織・団体で、地域社会の課題解決に取り組む団体をふるさと納税の仕組みを使って応援します。

東日本大震災により、釜石市は甚大な被害を受け、コミュニティや市民活動も大きく影響をうけました。現在の釜石市を支える要素のひとつがNPO等であり、魅力あるまちづくりを進めていくためには、行政、企業、NPO、市民団体等、多様な主体がそれぞれの役割に応じて活動し、市民一人ひとりが希望を持った全市民参加型の協働によるまちづくりが、今後の復興・地方創生の推進が必要です。令和2年度に団体を指定された寄附金は、令和3年度に補助金として交付されます。

### 団体紹介

- [特定非営利活動法人 釜石東部漁協管内復興市民会議（NPOおはこざき市民会議）](#)

# ふるさと納税による指定寄附

- コミュニティを形づくるツール
- 絵本をベースに、地域の未来のイメージを共有
- 世界観を伝える物語、風景
- パンづくりの過程から地域の暮らしを伝える
  - 効率化に逆行、多様性…

心身一致のコミュニケーション

---

馬先生は、指導者の育成に最適！

リーダーシップ研修にも活躍

A man with short dark hair, wearing a light blue zip-up jacket over a dark blue t-shirt, stands in the foreground. Behind him is a stable with several brown horses. The stable has a dark wooden facade with yellow diamond-shaped decorations. The background is filled with green trees.

**佐渡島庸平らが北海道で挑戦**  
**馬と共に学ぶリーダーシップ**

YouTube

『佐渡島庸平が仲間と行く北海道馬合宿日記』（NewsPicks特別ドキュメンタリー）



心と身体を一致させる



構造によるコミュニケーション



フェーズによるコミュニケーションの段階

まとめに変えて

---

馬を中心に考える

# 人間中心主義 VS 馬中心主義

- 災害、差別、困難を乗り越えるには？
- 人間中心で考えるのでは、限界がある
  - アインシュタイン  
『いかなる問題も、それをつくりだした同じ意識によって解決することはできません。』
  - 価値観の押しつけ、箱に入れてしまう
- 馬の命を守り、寄り添うところから始めてみる

## 団体の目指す形

- 心とからだのケア事業の推進  
(被災地子ども → 他の地域、大人へ拡大)
- 地域の馬文化の再生と事業化
  - 馬耕、馬搬、耕作放棄地の活用
- 地域資源を活かした仕事づくり
  - 卒業後の受け皿

過去と未来をつなぐ



➤ 設立 2013年11月（法人化2015年4月）

➤ 代表理事 寄田 勝彦、理事 <sup>きびはら</sup> 黍原 豊

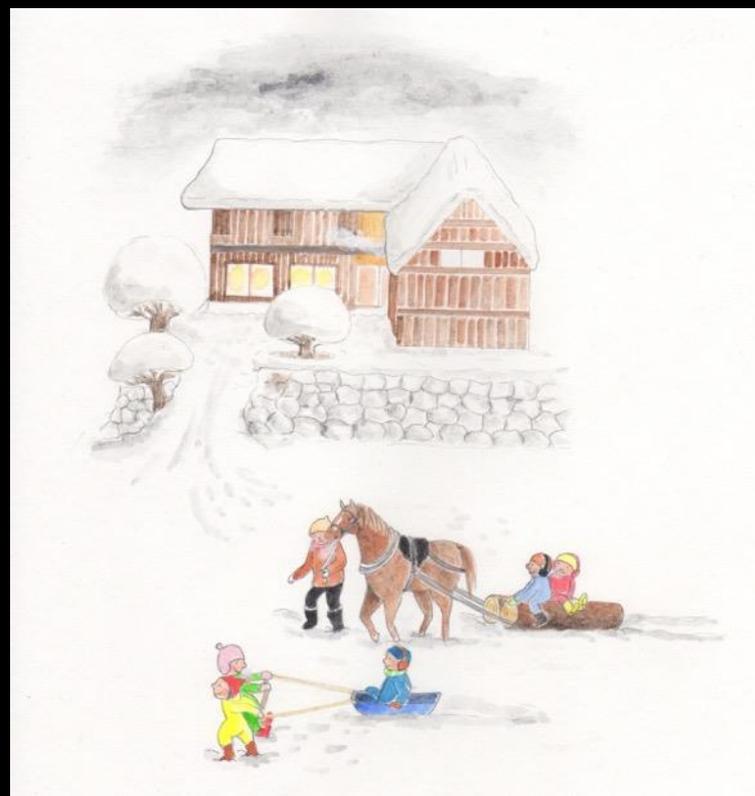
➤ 〒026-0411

岩手県釜石市橋野町 9 -44-7

➤ kama.koma55@gmail.com

<http://kamakoma.org>

[facebook.com/kamakoma55](https://www.facebook.com/kamakoma55)



# 応援・参加 お願いします！

- 「馬っこ里親」 募集
    - 1日33円から応援！
  - 馬の暮らし型セラピー勉強会
  - 現地サポーター
    - 馬の世話
    - 環境整備、イベントサポート
  - 研修生を募集 → 検索「他カサムガ」
- 検索  
「三陸駒舎」

# 三陸駒舎の情報はコチラから

【ウェブサイト】 <https://kamakoma.org/>

【公式LINE】 <https://lin.ee/BHwT02B>

【Twitter】 <https://twitter.com/kamakoma55>

【facebook】

<https://www.facebook.com/kamakoma55>

# もっと三陸駒舎やホースセラピーを知りたい

- ポッドキャスト さんこまラジオ  
<https://anchor.fm/kamakoma>
- 取り組みを詳しく話した動画リスト  
[https://www.youtube.com/playlist?list=PLBChUhYS8E4fTzKIYRaQjks\\_CK700Cvss](https://www.youtube.com/playlist?list=PLBChUhYS8E4fTzKIYRaQjks_CK700Cvss)
- テレビなどで放送してもらった動画など  
[https://www.youtube.com/playlist?list=PLBChUhYS8E4cqf3GztxlGJZbF\\_KujGmhW](https://www.youtube.com/playlist?list=PLBChUhYS8E4cqf3GztxlGJZbF_KujGmhW)

---

どんな事業に注力していくか

# 馬×地域＝新たな価値の創出

- 馬耕、馬糞堆肥と耕作放棄地の活用
- ヘルスツーリズム
- 障がい児、障がい者の余暇プログラム
- 森づくりと馬と共生する暮らし
  - － 馬搬、間伐材の活用

地域に根ざした仕事づくり

# 「馬の暮らし型セラピー」がもたらすもの

- 岩手の馬と共にある暮らしがベース
  - 乗馬だけではない。暮らしまるごとを活かす
- ツーリズムへの発展
  - 地域の自然、食、文化を体験
  - 心と体が元気になるヘルスツーリズム
- 現代社会が抱える課題解決に
  - ストレス、メンタルヘルス
  - 発達障害



# 馬による三陸沿岸の子どもケアPJ

- 県内でサポートが必要な子ども  
13,490名
- PTSD等ストレスを抱える子ども達
- 馬の力に頼って心とからだのケア
- 認知行動療法、感覚統合理論、セラピスト、カウンセラー等と
- 「馬」と「自然災害」同じような本質を持つ
  - 自分よりも圧倒的に強い存在
  - 言葉が通じない存在



# 馬が先生～フリースクール構想

- 馬の暮らし型のオルタナティブ・スクール
- 馬から学ぶ
  - ー コミュニケーション
  - ー リーダーシップ
  - ー 生活スキル

